

RC シリーズ監視ツール 操作説明書



目次

1. はじめに	1
2. 主な機能概要	1
3. インストール方法	2
4. 起動方法	2
5. グループの作成	3
6. 機器（RC1504）の登録	4
7. プロパティの設定	5
8. 状態通知機能の設定	7
9. 電源制御機能	11
10. 情報表示機能	13
付録1	14

1. はじめに

RC シリーズ監視ツールは複数台のマルチコントロールコンセント（RC1504）を監視、制御するソフトウェアです。

RC シリーズ監視ツールは MicrosoftWindows2000/XP 対応ソフトです。他の OS では動作いたしません。

2. 主な機能概要

稼動監視機能

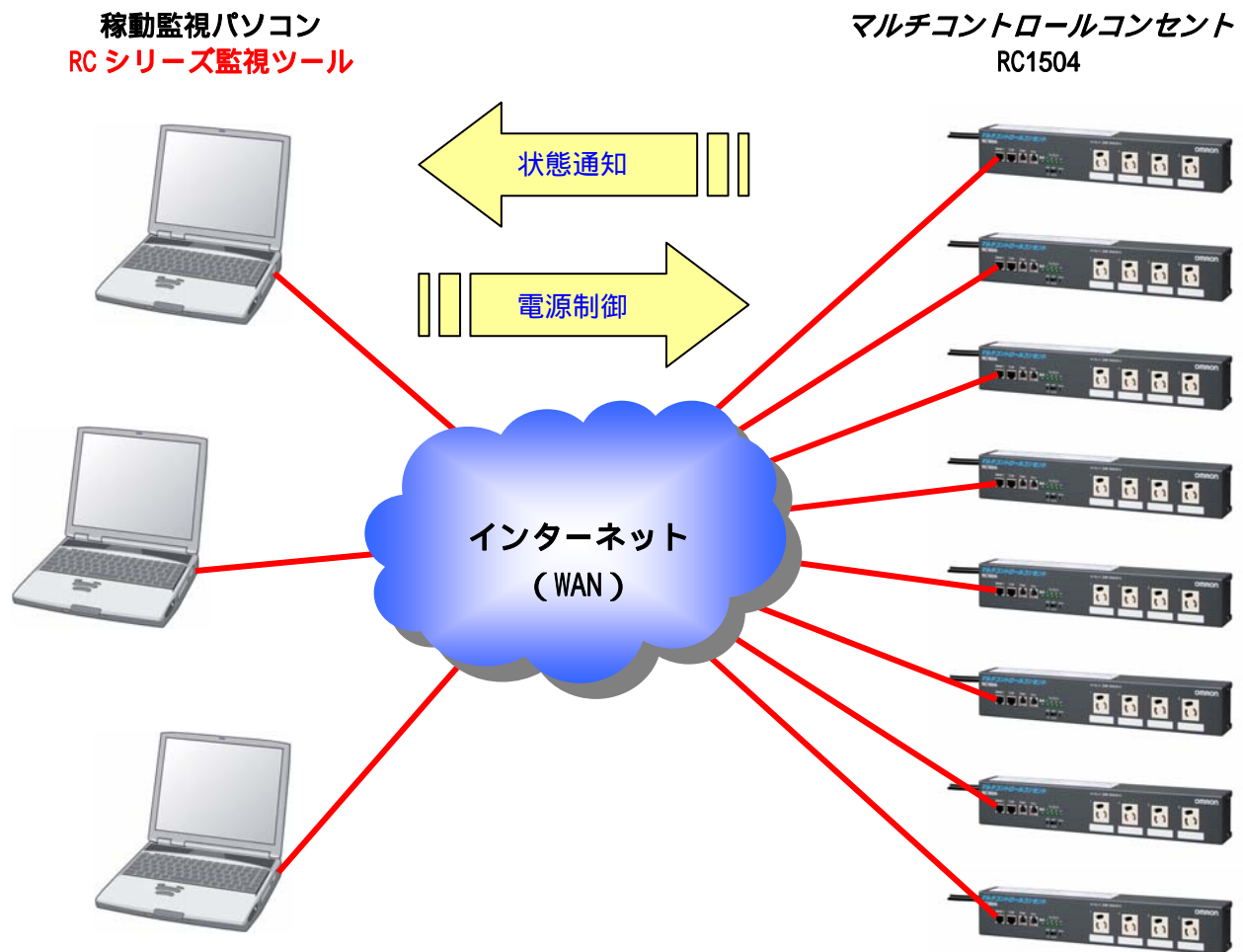
複数のマルチコントロールコンセント（RC1504）の電源状態、PING 監視の状態、レポート回数などの稼動状況を、本ソフトウェアをインストールしたパソコンにより一覧表示できます。

マルチコントロールコンセント（RC1504）の監視台数に理論上の制限はありません。

稼動監視が可能なパソコンは最大 3 台となります。

電源制御機能

選択した 1 台の機器の電源を直接制御できます。



お願い

- ・セキュリティの確保について
ネットワーク上に設置された本装置を RC シリーズ監視ツールによって監視制御する場合、通信内容は平文でネットワーク上を流れますので、お客様の責任で VPN などの手段によってセキュリティを確保してください。

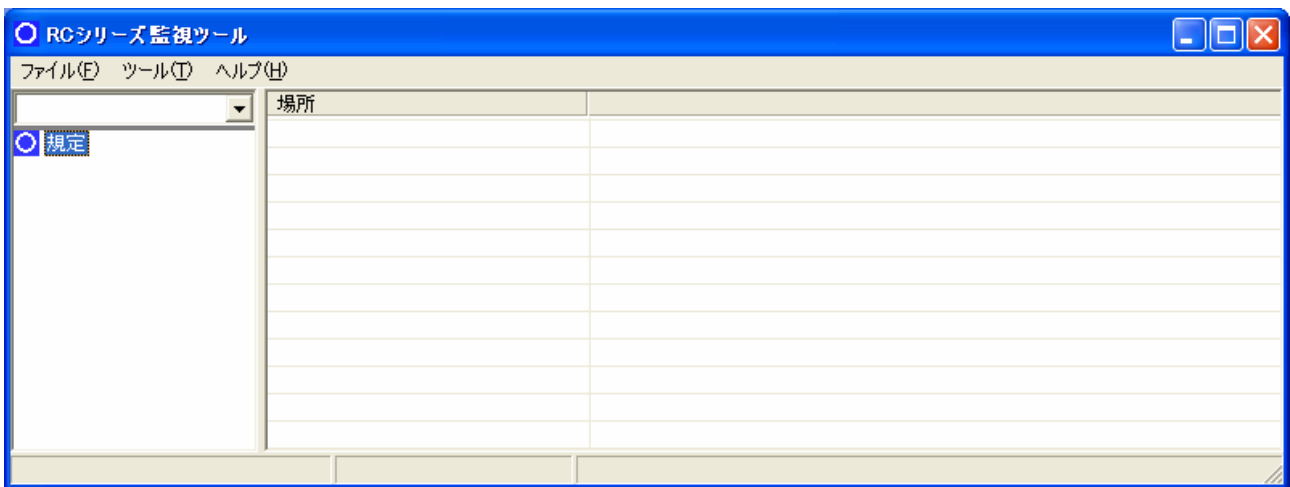
3. インストール方法

ダウンロードした MCDT.EXE ファイルをダブルクリックすると MCDT フォルダが作成されます。
MCDT フォルダごとパソコンの適当なフォルダにコピーしてください。

4. 起動方法



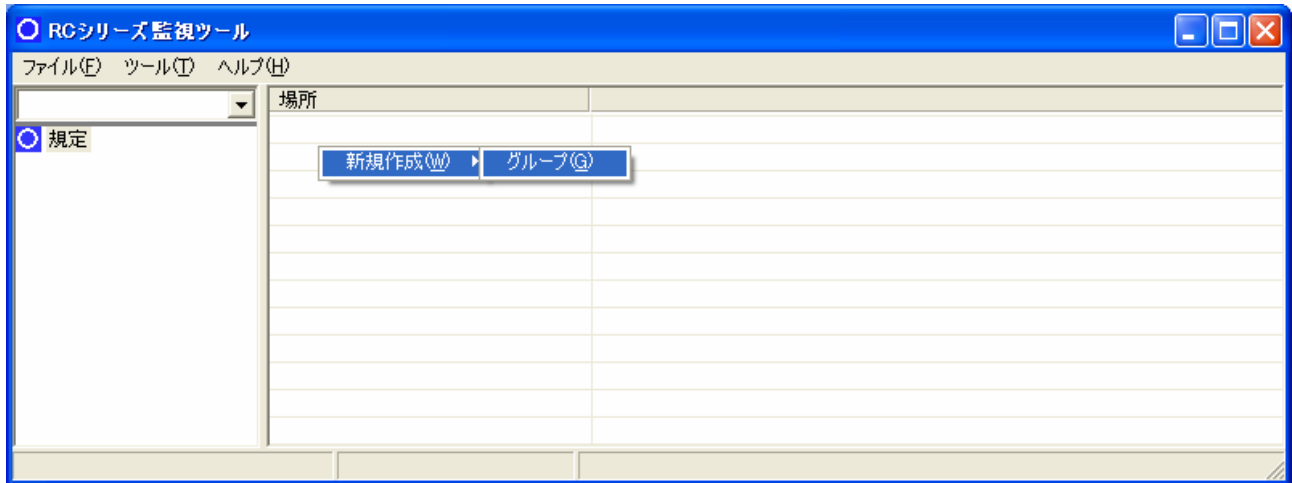
MCDT フォルダの中にある、MCDT.EXE をダブルクリックすると RC シリーズ監視ツールが起動します。



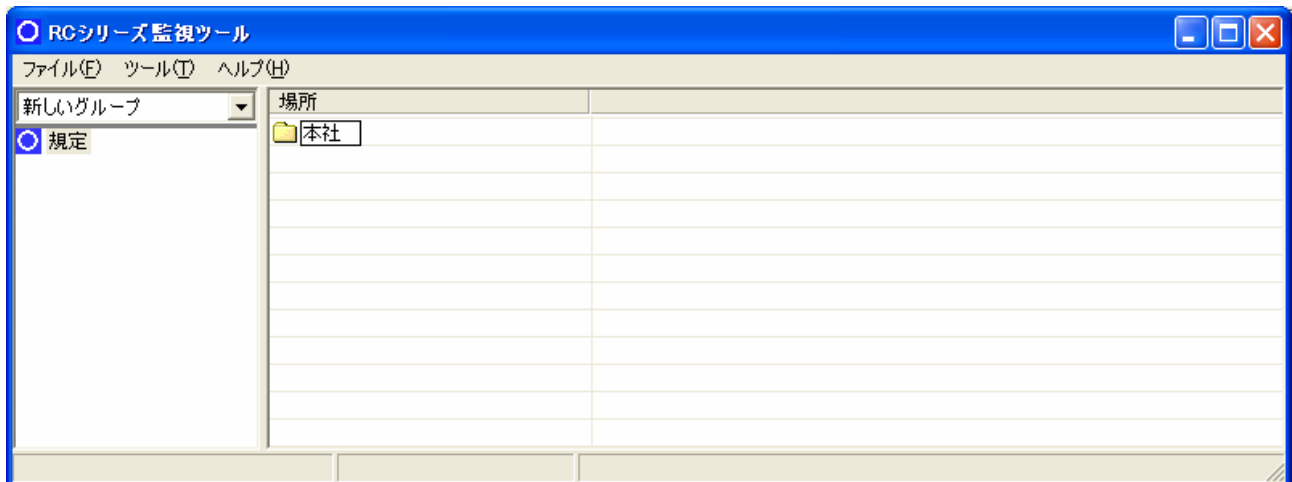
5. グループの作成

RC シリーズ監視ツールでは、複数台のマルチコントロールコンセント（RC1504）を階層構造のグループに分けて管理することができます。

(1) マウスを右クリックし、[新規作成(W)] [グループ(G)]を選択します。

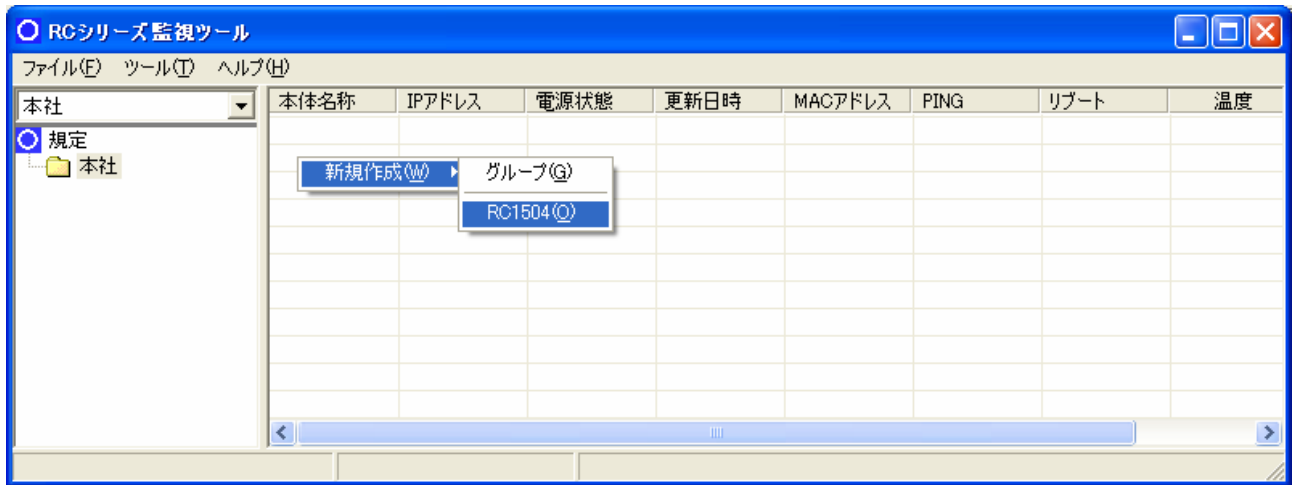


(2) 場所の欄に [新しいグループ] が反転文字表示されますので、適当なグループ名称を入力します。
(例：本社)



6. 機器 (RC1504) の登録

- (1) 場所の欄に作成したグループ名 (例: 本社) をダブルクリックします。
- (2) マウスを右クリックし、[新規作成] [RC1504(Q)] を選択します。

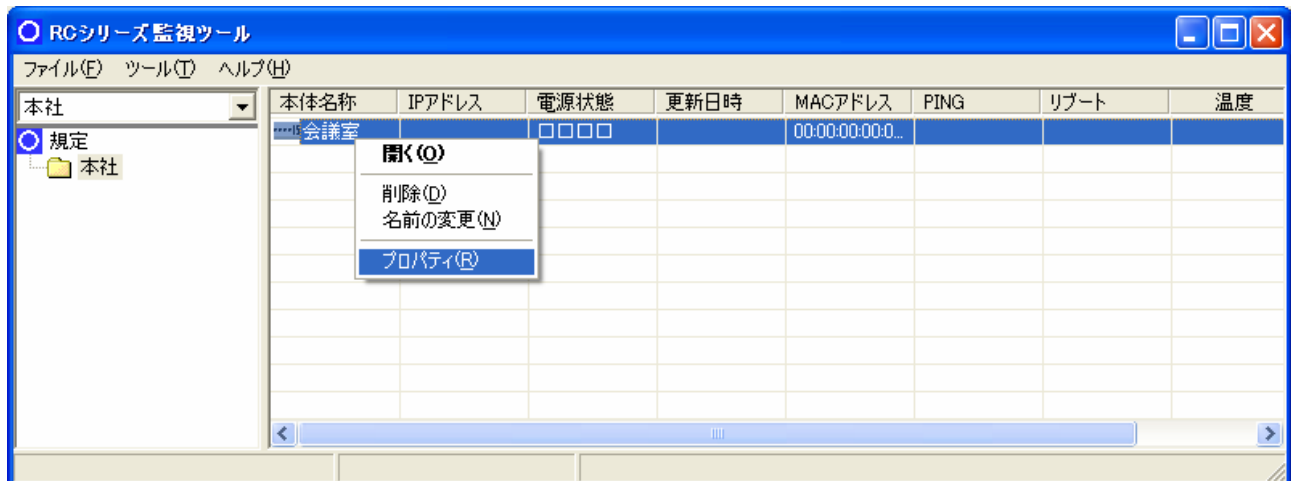


- (3) 本体名称の欄に機器名が反転文字表示されますので、判別し易いように書き換えます。(例: 会議室)

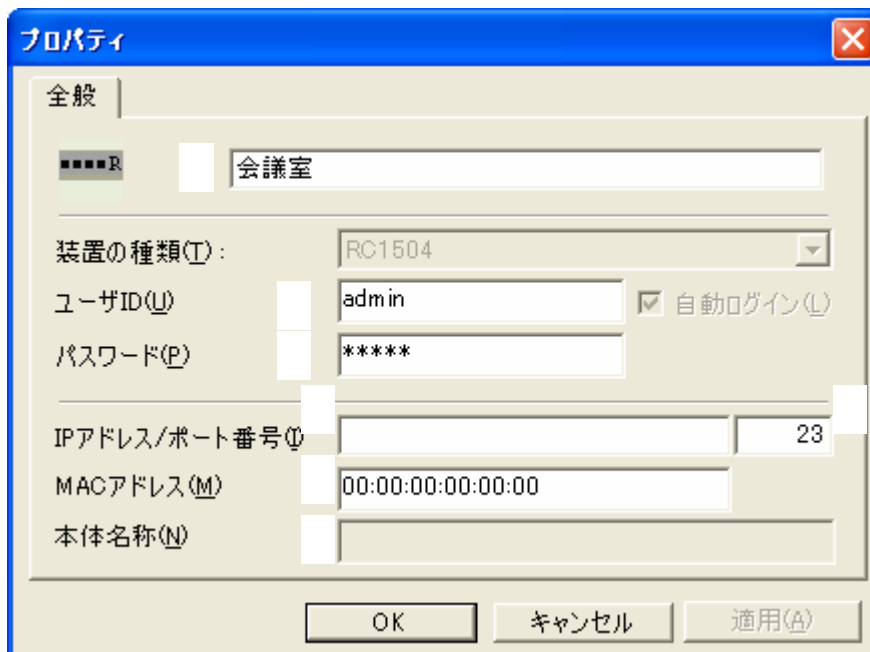


7. プロパティの設定

(1) 本体名称に登録した機器を選択し、右クリックで [プロパティ(R)] を選択します。



(2) 選択した機器のプロパティを設定します。



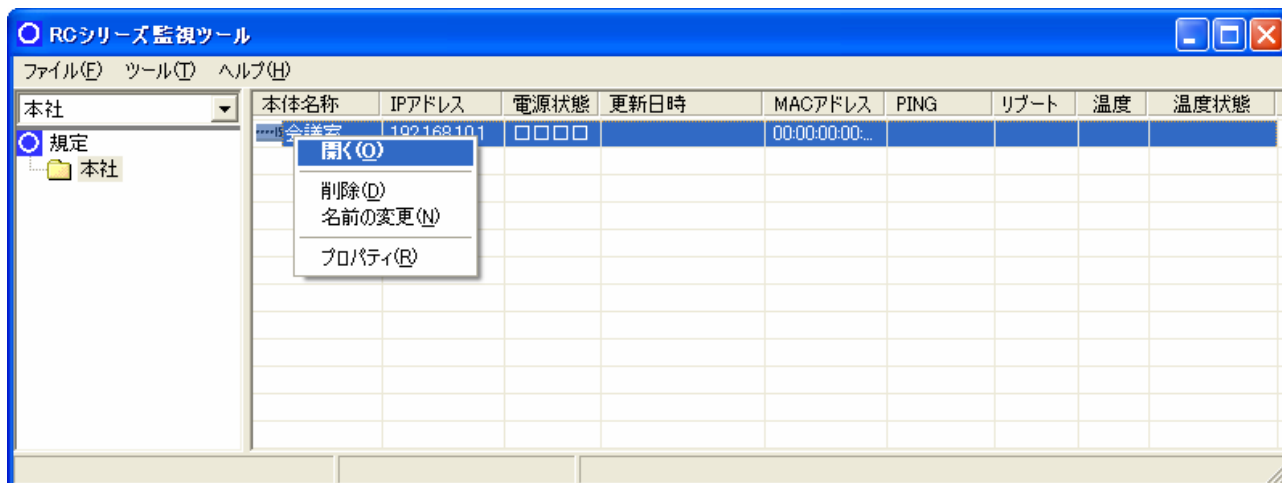
項目	内容
本体名称	RC シリーズ監視ツールでの適当な本体名称を設定します。
ユーザ ID	admin と入力します。 (工場出荷時設定 : admin 変更はできません)
パスワード	機器 (RC1504) に設定されている TELNET パスワードを入力します。 (変更は機器 (RC1504) に TELNET 接続し、pass コマンドにより変更します。工場出荷時設定 : magic)
IP アドレス	監視する機器 (RC1504) の IP アドレスを設定します。
ポート番号	監視する機器 (RC1504) の TELNET ポート番号を設定します。
MAC アドレス	監視する機器 (RC1504) の MAC アドレスを設定します。 (IP アドレスを設定し対象機器と接続すれば自動取得できます)
本体名称	機器 (RC1504) に設定した本体名称が表示されます。 (IP アドレスを設定し対象機器と接続すれば自動取得できます)

RC シリーズ監視ツールは MAC アドレスにより各機器からの情報を識別します。
ユーザ ID、パスワード、IP アドレス、ポート番号は、各機器に直接接続して電源制御する場合に必要です。RC シリーズ監視ツールでは、これらの電源制御を TELNET 接続によりおこないます。

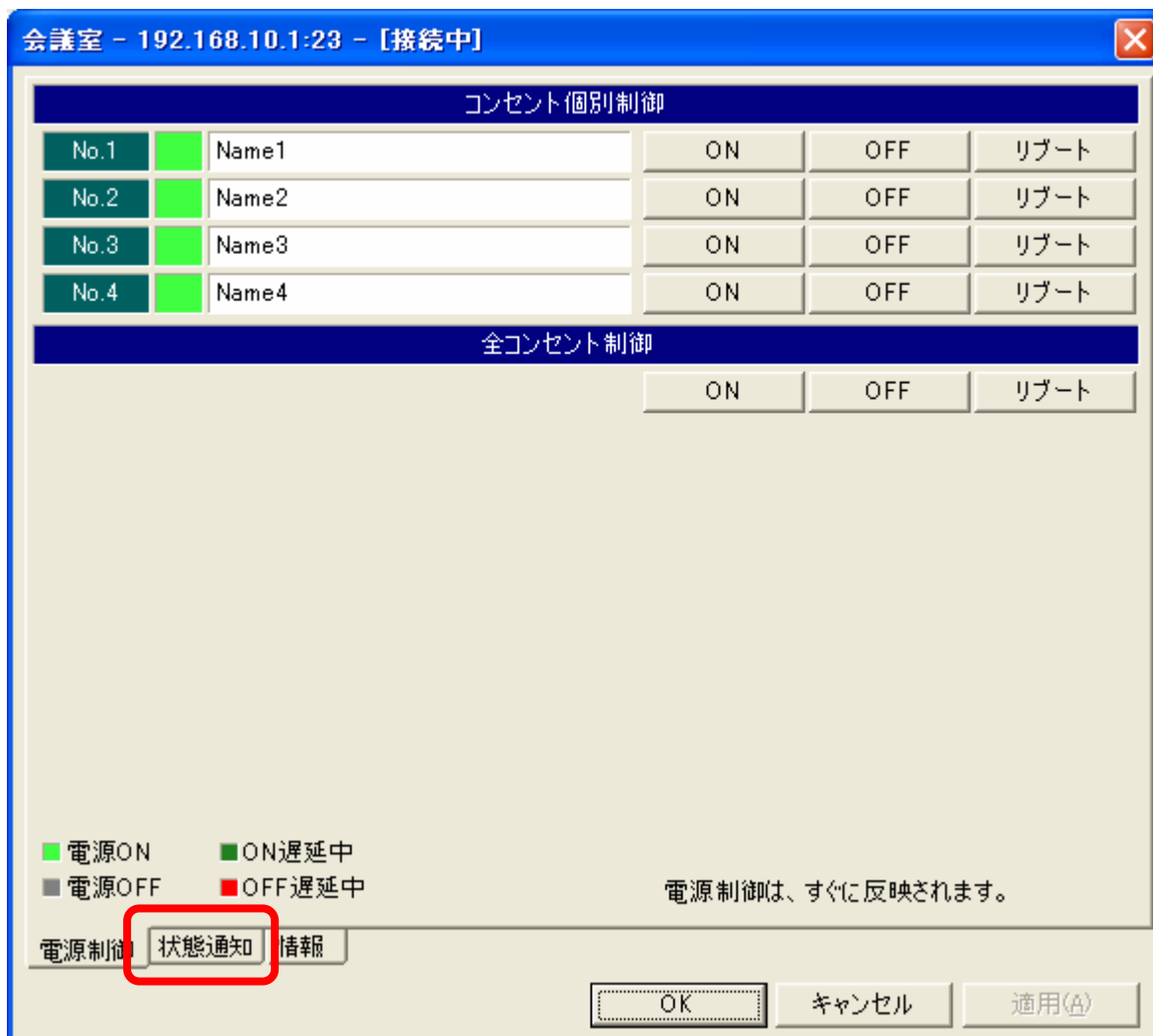
(3) プロパティの設定が終了したら [適用(A)] をクリックし、[OK] をクリックします。

8. 状態通知機能の設定

(1) 本体名称に登録した機器を選択し、右クリックで [開く(O)] を選択します。



(2) [状態通知] タブをクリックします



(3) 状態通知機能を設定します

本画面の設定は、機器（RC1504）の変数へ設定されます。（付録1）

（これらの変数設定は、WEB ブラウザ、制御ユーティリティ、TELNET を用いても設定可能です。）

各機器（RC1504）はそれぞれ、最大3つのIPアドレスに対し状態を通知できます。

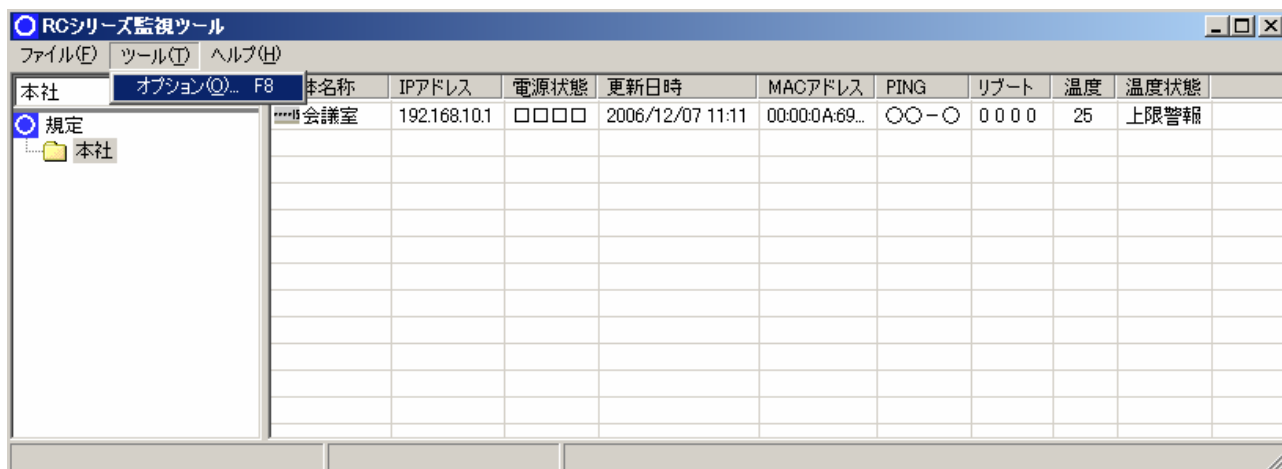
状態通知機能	
<input checked="" type="checkbox"/> 状態通知機能(T)	
通知先センタIP1(1)	192.168.10.100
通知先センタポート1(A)	5000
通知先センタIP2(2)	0.0.0.0
通知先センタポート2(B)	5000
通知先センタIP3(3)	0.0.0.0
通知先センタポート3(C)	5000
定期送信間隔(L) (秒)	300

項目	内容
状態通知機能	RC シリーズ監視ツールへの状態通知を ON に設定します。 チェックボックスにチェックを入れます。
通知先センタ IP1(1)	監視情報送信先 IP アドレス (RC シリーズ監視ツールを使用するパソコンの IP アドレス) を設定します。
通知先センタポート 1(A)	監視情報送信先ポート (RC シリーズ監視ツールで使用するポート番号) を設定します。
通知先センタ IP2(2)	監視情報送信先 IP アドレス (RC シリーズ監視ツールを使用するパソコンの IP アドレス) を設定します。
通知先センタポート 2(B)	監視情報送信先ポート (RC シリーズ監視ツールで使用するポート番号) を設定します。
通知先センタ IP3(3)	監視情報送信先 IP アドレス (RC シリーズ監視ツールを使用するパソコンの IP アドレス) を設定します。
通知先センタポート 3(C)	監視情報送信先ポート (RC シリーズ監視ツールで使用するポート番号) を設定します。
定期送信間隔(L) (秒)	監視情報送信間隔 (秒) を設定します。

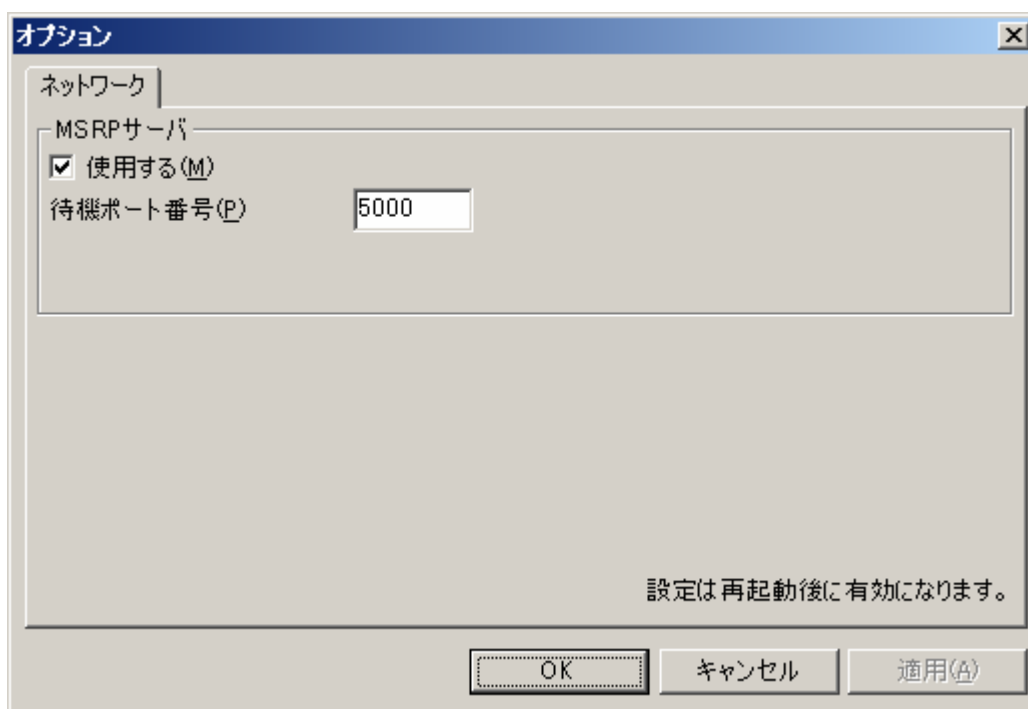
通知先センタ IP を、0,0,0,0 (デフォルト値) と設定した場合は、通知しない設定となります。

(4) 設定が終了したら [適用(A)] をクリックし、[OK] をクリックします。

(5) プルダウンメニューより、[ツール(T)] - [オプション(O)... F8] を選択します。



(6) 機器からの状態通知を受け取るポートを設定します。



項目	内容
使用する	チェックボックスにチェックを入れます。
待機ポート番号	監視情報を本ソフトウェアで受け取るポート番号を設定します。 状態通知機能（前ページ）で、機器（RC1504）に設定した通知先センタポートと対となります。

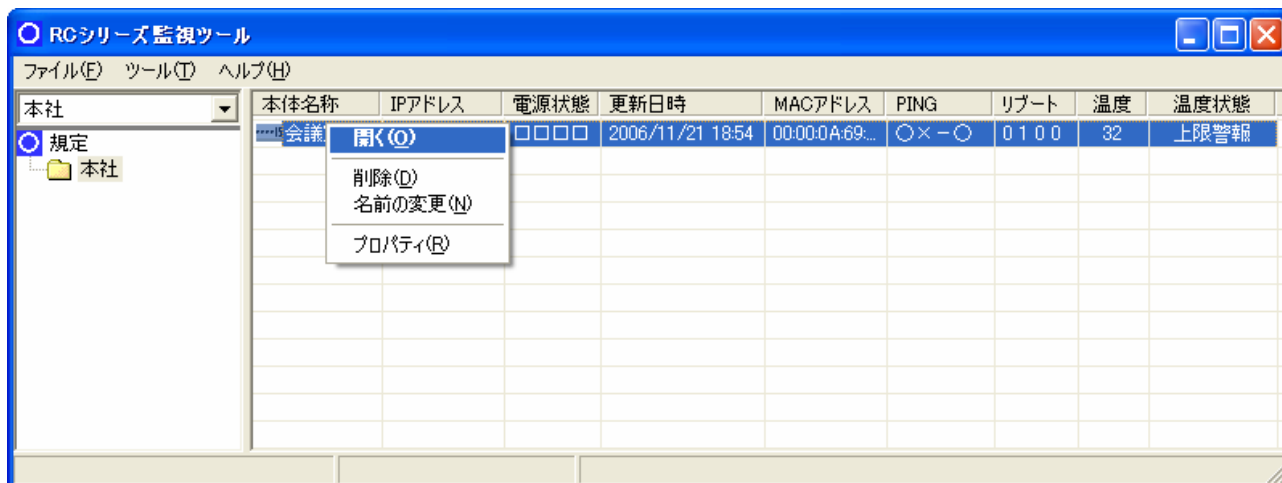
(7) 定期送信間隔時間経過後、もしくは電源状態変化で状態表示が更新されます。



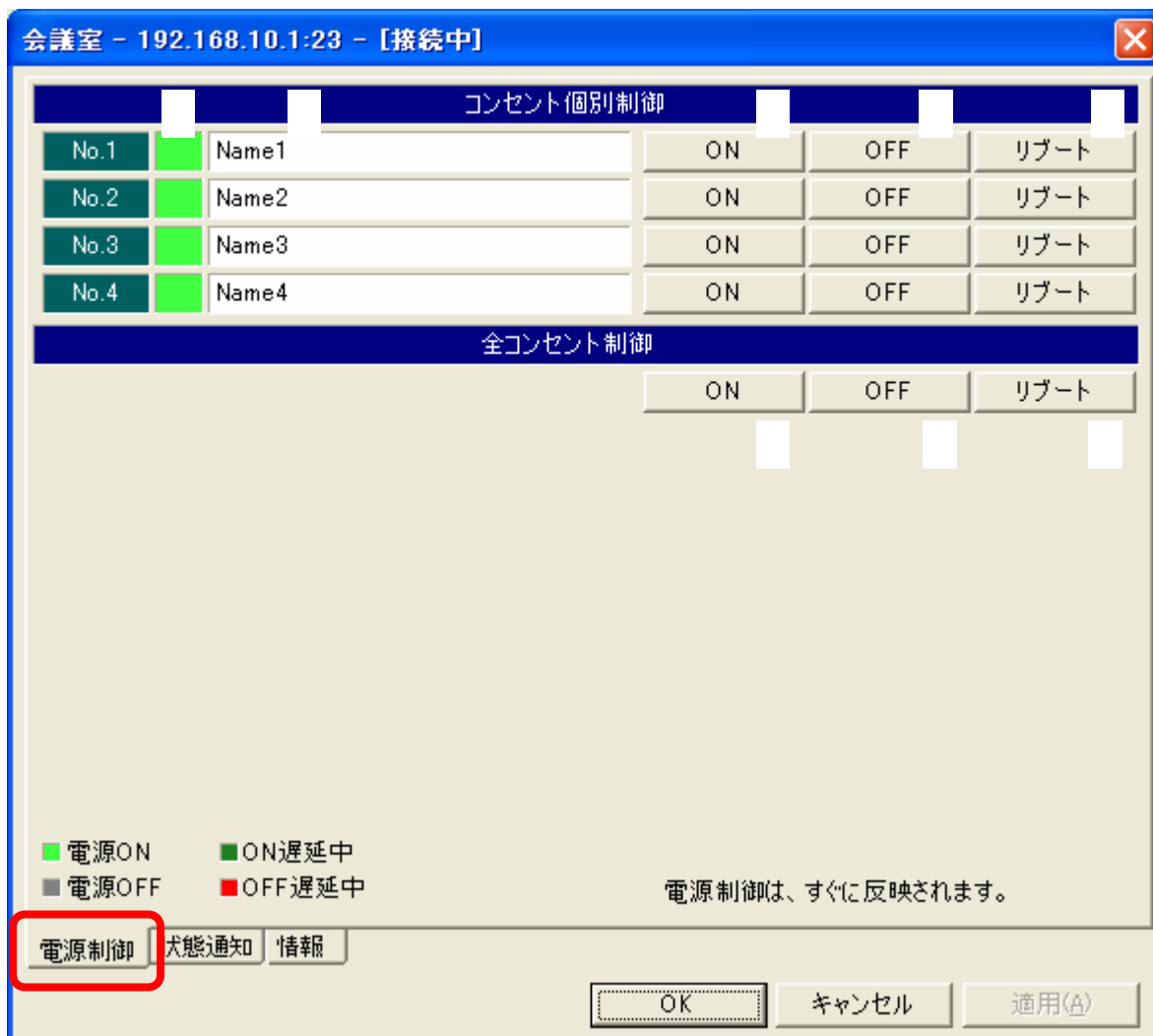
項目	内容
電源状態	<p>アウトレットの電源の状態 (ON/OFF) が表示されます。</p> <p style="text-align: right;">: ON</p> <p>コンセント番号 1 2,3,4 : OFF</p>
更新日時	最新の更新日時が表示されます。
MAC アドレス	各機器の MAC アドレスが表示されます。
PING	<p>PING 監視情報が表示されます。</p> <p style="text-align: right;">: 正常</p> <p style="text-align: right;">× : 異常</p> <p style="text-align: right;">: 回復中</p> <p style="text-align: right;">- : PING 監視をおこなっていない</p> <p>PING 監視の設定が必要です。</p>
リポート	<p>リポートの回数が表示されます。</p> <p>PING 監視または温度監視の設定が必要です。</p>
温度	<p>現在の温度が表示されます。</p> <p>温度センサ (発売予定) を接続し、温度監視の設定が必要です。</p>
温度状態	<p>現在の温度状態が表示されます。</p> <p>温度センサ (発売予定) を接続し、温度監視の設定が必要です。</p>

9. 電源制御機能

(1) 本体名称に登録した機器を選択し、右クリックで [開く(O)] を選択します。



(2) [電源制御] タブをクリックします。



項目	内容
電源状態	コンセント1~4の電源出力状態を色で表示します。

コンセント名称	機器 (RC1504) で設定されているコンセント名称を表示します。
コンセント個別制御 ON	コンセント 1~4 を個別に ON します。
コンセント個別制御 OFF	コンセント 1~4 を個別に OFF します。
コンセント個別制御リブート	コンセント 1~4 を個別にリブートします。
全コンセント制御 ON	全コンセントを ON します。
全コンセント制御 OFF	全コンセントを OFF します。
全コンセント制御リブート	全コンセントをリブートします。

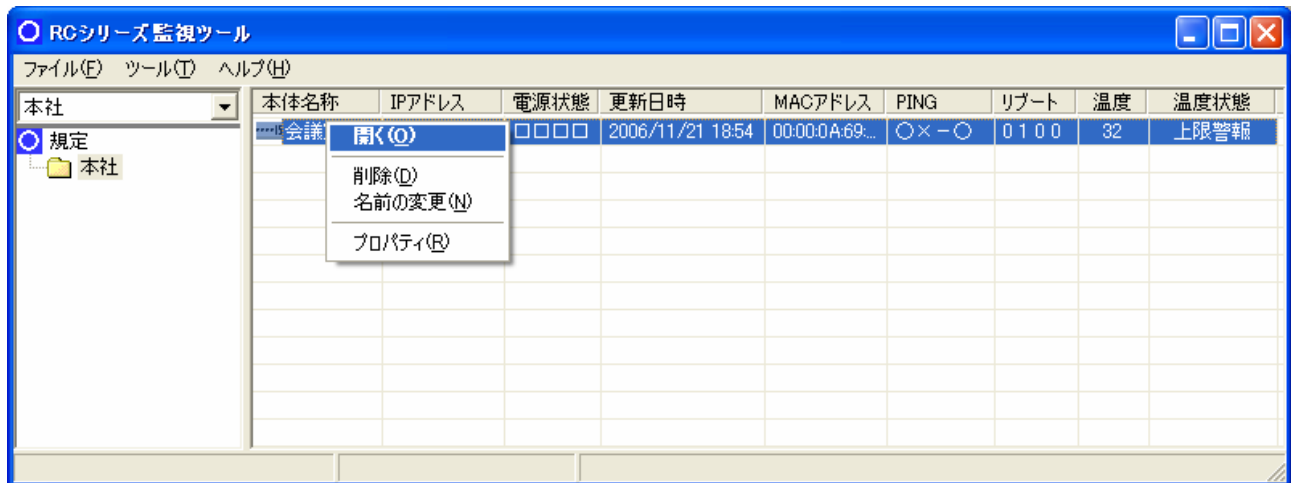
コンセント個別制御および全コンセント制御時の動作は、機器 (RC1504) の設定に従います。

状態通知機能が有効でないと表示は変化しません。

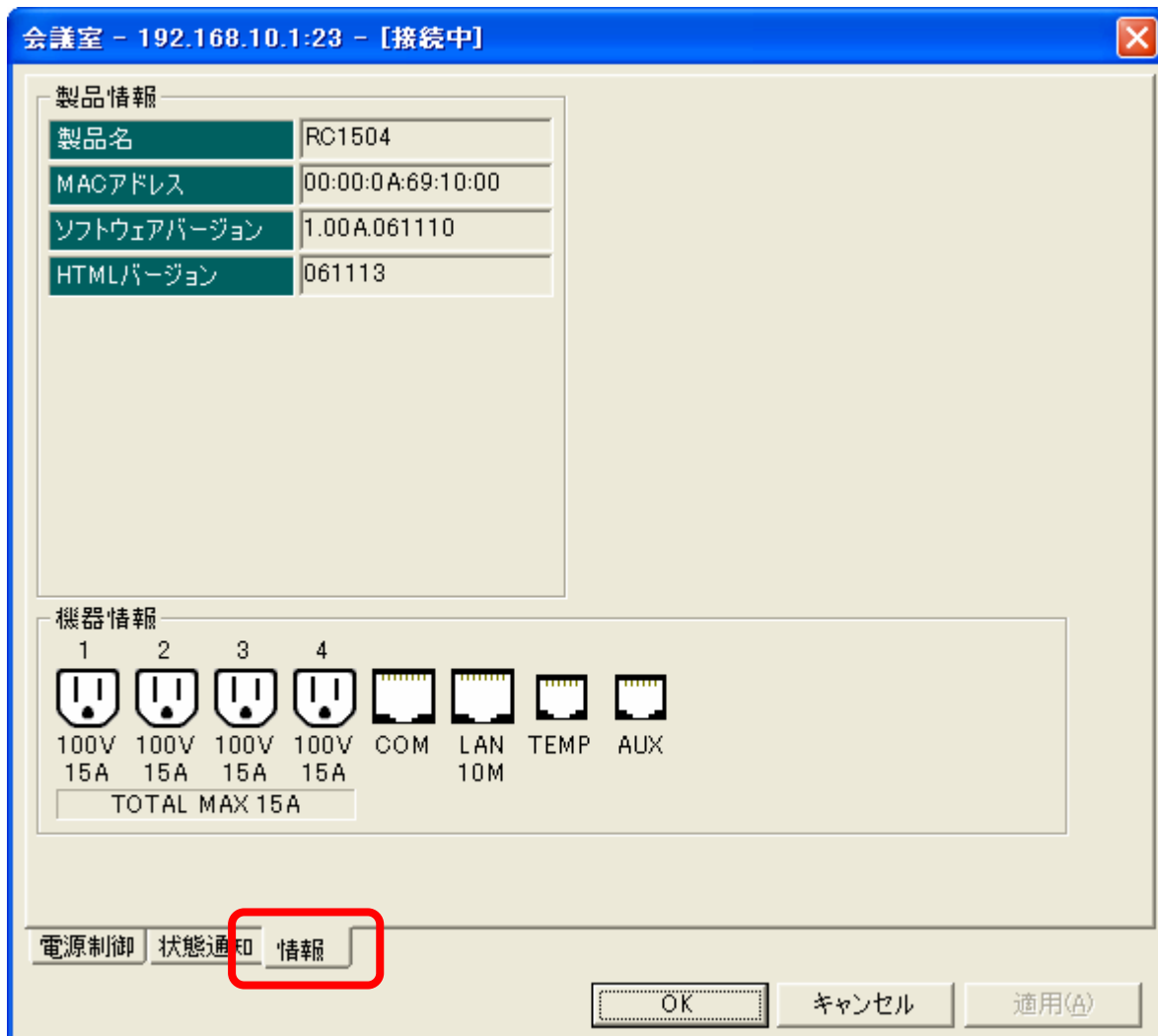
本体の電源状態はリアルタイムに 電源状態の表示に反映されます。

10. 情報表示機能

(1) 本体名称に登録した機器を選択し、右クリックで [開く(O)] を選択します。



(2) [情報] タブをクリックすると製品情報・機器情報が表示されます。



付録 1

RC シリーズ監視ツールに関連するマルチコントロールコンセント (RC1504) の変数

変数	内容
msrpEnabled	状態通知機能の有効化 (0 : 無効 1 : 有効) (工場出荷時設定 : 0)
ipAdCenter	監視情報送信先 IP アドレス (3 箇所) (工場出荷時設定 : 0.0.0.0,0.0.0.0,0.0.0.0)
centerPort	監視情報送信先ポート (工場出荷時設定 : 5000,5000,5000)
terminalId	監視情報用 ID 番号 (工場出荷時設定 : 0)
centerSendTimer	監視情報送信間隔 (秒) (工場出荷時設定 : 300)
centerChangeSendTimer	状態変化時の送信間隔 (秒) (工場出荷時設定 : 10)
centerChangeSendCount	状態変化時の送信回数 (回) (工場出荷時設定 : 3)

RC シリーズ監視ツール 操作説明書

発行日 2006 年 11 月

第 1 版 K1N-D-06128A

発行責任 : **オムロン株式会社**

- ・本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- ・本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、弊社はその責を負いません。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。